

1 学校教育目標と重点目標

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）	成果と課題	内部評価	評価	学校評議員によるアドバイス
<p>教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。</p> <p>(1) 人格の形成をめざし国家ならびに社会の有為な形成者として必要な資質を養うため、一般教養を高める。</p> <p>(2) 日本の工業の建設発展の根幹である技術者として必要な技能・知識・態度を養成する。</p> <p>(3) 本校の伝統校風である質実剛健、至誠一貫の精神を涵養する。</p> <p>信条 「技術者となる前に人間となれ」</p>	<p>地域のニーズに応えられる生徒を育成し、より魅力的な工業高校の姿を求めらる。</p> <p>1. 学力の一層の向上に努める。 2. クラブ活動の充実と活性化に努める。 3. 地域に根ざした魅力ある学校づくりに努める。</p>	<p>平成23年度から地元産業界の要望に応える形で学科の改編が行われることになり、教育課程の見直しなど態勢を整えた。</p> <p>高大連携や企業との連携、あるいは各種資格検定、モノづくりコンテストなど学習活動及び特別教育活動に生徒が意欲的に取り組める環境整備が継続できている。</p> <p>広く地域の声に耳を傾け、100年の歴史にふさわしい学校づくりを推進する。</p>	A	A	<p>・100周年の節目の年に当たり、新たな挑戦に向けた取り組みは、心機一転、不転の心構えで対処できる良い機会であり、全職員が気持ちを一つにして取り組んでいただきたい。</p> <p>・地域の企業との関連や実務に基づいた教育内容の取り組み等大変素晴らしいものと感じます。</p> <p>・諏訪圏工業メッセなどに積極的に参加している等、評価を高くしました。</p>
	今年度の重点目標				
	<p>○文武一体による人間力づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動との連携により集中力を授業で反映させる指導体制 ・生徒自己実現のための手厚い学習指導の充実 ・基本的生活習慣の育成、プレゼンテーション能力の実践強化 	<p>運動部活動(武)と学習(文)の両立に関する課題には粘り強く取り組む必要がある。</p> <p>生徒の進路希望実現のための補習授業などが実施されているが、さらに自己実現のための多様な指導が求められる。</p> <p>課題研究の発表会・インターンシップ報告会などを通して、実践的プレゼン能力を高める指導を継続していく。</p>	A	A	<p>・得意なことを持つことで自信が生まれ、不得意なことにもチャレンジする姿勢が出てきます。そのためには生徒自身が目標を立てること。職員は、生徒が目標に向って達成する過程の節目毎にチェックしフォローしていけば、生徒の自己実現への道が開かれると思います。</p> <p>・過去よりスポーツ面で全国にも名を知られるほど力を入れており、結果を残していることは素晴らしいと思います。</p> <p>・運動系クラブ活動の充実や工業高校ならではの技術系クラブでの優秀な活動を高く評価します。</p>
	<p>○地域産業界や大学との連携・活用による進路づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップをベースとしての実践的総合力の習得 ・進路ガイダンス等の早期指導による進路実現 ・地域産業界と学校マネジメントの連携と貢献 	<p>昨年より続く不況の中、春先より各事業所訪問を行い、生徒と保護所に進路説明会で状況説明を行った。また、卒業生による進路講話を行った。</p> <p>企業研修やセンター研修により、地域産業界との連携を行った。LEDディスプレイの商品化プロジェクトを1年次より行い、製品化するだけでなく商品化を目指す取り組みを行った。</p>	A	A	<p>・日本社会がどうなるのか、日本が世界の中でどのような役割を果たしていかなければならないか、最新情報を学ぶことにより、いま自分たちは何をやらなければならないのか、方向性が見えてくると思います。</p> <p>・インターンシップや企業の講師制度、地域に密着した教育内容を進められており、就職希望者100%実現等の良い結果につながっていると思います。</p> <p>・諏訪東京理科大学との高大連携事業などの取り組みを高く評価します。</p> <p>・発表会をやり、多くの生徒に知る機会をつくることはよいことだと思います。</p> <p>・工場の内容を映像で出している会社は、見学しなくても参考になる。</p>
	<p>○環境に配慮したものづくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県エコアクション」に係わる取組の推進 ・環境に配慮したものづくりの学習活動の充実 	<p>「長野県エコアクション」に沿って職員研修を実施した。</p> <p>諏訪東京理科大学と連携し、「クリーンエネルギー利用」の学習や講演会を行った。</p> <p>電気・情報科棟の廊下の照明をセンサライトに切り替えるなど、省エネルギー対策を行った。</p>	A	B	<p>・エコやクリーンエネルギーなどに対し、学習したことを実習の場で実証できる工業高校の特異性を生かし、生徒が発想したアイデアや提案を材料に使ったものづくり実習を、授業の中で実践していけば、現在画一的といわれる教育から脱皮できる一助になるのではないのでしょうか。</p> <p>・環境面での活動されている状況が目立っていない。活動内容や実績をもっとPRされたほうが良いと思います。</p> <p>・活動の実態があまり見えない。積極的なPRをしてほしい。</p>
<p>○キャリア的スキルづくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能検定、資格取得、ものづくりコンテスト等による実技の充実 ・基礎基本の定着のため専門性の追求と実践 ・課題研究の外部活用実践の充実 ・知的財産に関する創造教育の推進と育成 	<p>1年生対象の「知的財産権セミナー」を実施した。また、発想訓練を実施した。</p> <p>メッキ講習会(C)、ソーデナガノ100周年記念品・オリジナルマインド小型CNC制作(M)、親子電子工作教室(E)など、外部との連携を充実させた。</p> <p>技能検定、資格取得を充実させ、ものづくりコンテストで北信越大会に出場した。</p>	A	B	<p>・日本のものづくりは、まだまだ世界のトップに君臨していますので、生徒一人ひとりが、自分自身の限界と考えるもう一歩先を見越した目標を設定し、その目標が達成できれば、達成感が自然に身に付き、一番良い成果につながると思います。</p> <p>・授業内容にもう少し専門的な部分があるほうがよいと思います。</p> <p>・技能検定については積極的な取り組みを高く評価します。しかし、検定料が無料でないため、経済的に余裕のない生徒が多く検定に受検できるかという課題もある。</p>	

外部評価 ※評価基準 A:充分 B:普通 C:不十分

2 評価項目と評価の観点

No. 2

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	内部評価	評価	学校評議員によるアドバイス
教育課程	教育課程	教育課程の編成	生徒の実態と要望に応じた教育課程の編成ができていますか。	専門科目について、授業の実態に即した適切な科目の変更を行った。	A	B	・学習する中でやらなければいけないことは基本を知ることです。地道なことを行うことは、辛抱強さが要求されますが、それを克服し、基本を繰り返し実践していけば、生徒自身の生涯の宝物となり、どんな逆境に遭遇したとしても、常に身を助けてくれることとなります。
		工業高校としての独自性	実習（「ものづくり」や実験等）を通じて生徒の独自性を涵養することができたか。	昨年に引き続き「ものづくりコンテスト」に各科参加し、優勝や北信越大会に出場した。	A	A	・折角やるのであれば一番を目指し、または自分自身の最高レベルを目指す、その気持ちが自分発見の相乗効果を生み、次への挑戦に向う姿勢を育み、人間形成のスパイラルアップに繋がります。 ・専門学科である以上、もっとウエイトが大きくても良いと思う。
		選択制の実施	生徒の実態と要望に応じた科目設定、適切な科目選択指導が行われたか。	専門科目の一部が他科でも受講ができるようにした。3年次科目選択は現在内容説明等を行っている。	A	B	・やる気を起させるのが一番であり、その気にさせる指導を徹底して実践していけば、良い結果が必ず出てきます。
		習熟度別学習	習熟度別学習により効果的な学習が行われたか。	少人数編成の授業を行い、きめ細かな指導を行っている。また、個人のレベルにあった内容を精選し、進路希望に応じた指導を行っている。	A	B	・自分に関心を持ってもらっているという意識が一番大切であり、そのことが自然と自信になり、行動も前向きな姿勢に変わり、次へのステップに向け加速することになります。 ・少人数クラスはよいが、進学希望者についての工夫はどうしているのか。
	学習指導	学力の向上	生徒の実態を把握したわかりやすい授業はもちろん、学力や進路希望等、生徒の状況にあわせた補習授業を実施するなど、学力の向上に努めたか。	生徒に授業を大切にさせることを、全教職員が共通した認識に立ち、生徒の実態に即した分かり易い授業の実践が出来る環境作りを心がけている。また、放課後や夏休み中の補習授業も実施し効果も出ている。	A	B	・授業で解らないことが出てしまうと、そのことがトラウマとなり、学習意欲や自信を失くしてしまうことにもなるので、補習授業で補足したり、生徒自身の能力アップのために継続していただきたい。
		開かれた学校教育	シラバスの公開をはじめ、授業公開を積極的に取り入れる等、効果的な教育活動を行うことができたか。	学校内での様子や問題行動について心配のある場合は、担任を通じてその都度連絡をしてもらい、家庭での様子も含め保護者とともに対応するように努めている。	A	A	・親子の絆が益々希薄になっていることから、問題解決が大変難解になりますが、家庭と学校との信頼関係を強化することで、多くのことは解決につながると思いますので、時間を取り、こまめな対応を行ってください。 ・小学生や地域の社会人対象授業等充実している。
		保護者との協力体制	「家庭連絡書」等を活用するなど、保護者との連絡を密にした、学習指導を実施できたか。	クラス担任が、学校での学習の状況を連絡するための「家庭連絡書」を活用するなど、保護者との連絡を密にした教育活動に努め成果も出ている。	A	B	・記録に残すことは最も大切なことであり、成長の過程が確認できたり、修正ポイントが明確になるので継続していただき、高校生活が充実するようにしてください。
		家庭との連携	家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や、事件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できるように家庭との連携が取れているか。	学校内での様子や問題行動について心配のある場合は、担任を通じてその都度連絡をもらい、家庭での様子も含め保護者とともに対応するように努めている。	A	B	・心配事が現実になってしまうと、解決するためにはたくさんの時間と労力を要することになります。事前予知と事前予防、また気が付いたら後回しにせず、すぐに手を打つことを心掛けてください。 ・HPやメールは充実しているが、万一の場合正しく機能するかは不明である。
	生活指導	生徒への意識啓発	校内外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処するにはどうしたらよいか考えさせ、また、常識ある行動を取れるように指導したか。	学校内外で本校生徒にかかわる問題がおきた時は、全校の集会の折やHRで、生徒に伝え考えさせ、自覚ある行動を取れるように対応した。	A	B	・問題が起きたときには、まず再発させないこと、類似なことが起きないように手を打つことが大切です。さらに効果があるのは、個人情報には気を配りながら関係者、生徒に周知することが最善の策だと思います。
		相談体制の充実	生徒が相談しやすい校内体制が整備されているか。	基本的には養護教諭が一番の相談相手になっている状況であるが、特に心配な場合には生活指導・担任が慎重に対応している。	A	B	・メンタルヘルスの専門家をお願いすると1時間5000円程度掛かりますので、予算上で依頼することができない場合は、一番対応に最適な方が事に当るのが良いと思います。もしメンタルヘルスを行える機会を持つことができれば、活用することが一番の近道になります。
		手続きのアカウントビリティ（説明責任）	生活指導上の「指導」において、その根拠や手続きについて生徒や保護者に十分な説明と理解がされているか。	様々な状況下において発生する問題行動において、保護者が納得し生徒が今後の生活をしっかり送れるような取組を理解してもらえるように取り組んでいる。	A	B	・多くの場合、問題行動を起した生徒の親は、概して責任転嫁をしてくるケースが多いと思います。親や本人に対し丁寧に、じっくり時間を掛けて自覚を持たせるよう取り組みすることが大切です。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	内部評価	学校評議員によるアドバイス	
教育活動	進路指導	職員協力体制の確立	日常生活指導において、全職員の協力体制ができていますか。	毎日の校内巡視や行事の際の警備など、積極的に協力して活動してもらっている。	A	B	・巡視ならびに警備することは、予防措置に不可欠です。職員の皆さんに取って大変なことでありますが、協力体制により継続した取り組みをお願いします。
		希望に応じた進路の実現	生徒の希望・能力・適正に応じた進路がかなえられるよう援助ができたか。	保護者懇談会で進路希望を確認し、7月から8月にかけて企業訪問をさせ応募先を決定した。また、進学のアドバイスとしては個人々々を進路室に呼んで受験対策にも取り組んでいる。	A	B	・開催時期は適切だと思います。またできる限り複数の企業訪問の機会を与え、生徒自身の目で企業を確認することが大切です。ただし企業のウラの部分は、進路担当の職員の皆さんが解析しておく必要があります。 ・就職内定率100%を早期に実現されていることはすばらしいと思います。
		進路情報の収集	入試説明会や学校見学会等に参加し、進学先の積極的な情報収集に努めたか。事業所の視察や求人票の受付業務等とおして、的確な就職情報の収集に努めたか。	3学年担任と共に入試説明会に積極的に参加し情報収集に努めた。求人件数は景気の影響により昨年と同じく県内外共に減少してしまっ。しかし進路係が事業所訪問を実施し情報の収集と生徒への周知徹底をすることができた。	A	A	・学校、職員の皆さんの長年の努力により進学先、就職先共に恵まれた環境にありますが、この状態を維持継続するためには、機会ある毎に進学先、就職先に表敬訪問を行い、信頼関係を築き、情報収集を永年にわたりしっかり行うことが必要です。 ・積極的に行われている。今後もより充実した活動を願います。
		職業意識の形成	インターンシップ・進学ガイダンス・就職講話・保護者向け進路講話等を利用して、生徒の職業意識の形成が図られたか。	インターンシップ・進学ガイダンス・就職講話・保護者向け進路講話等を利用して、生徒の職業意識の形成が図ったが、若干進路選択に迷う生徒もいた。	A	A	・多くの企業からインターンシップの受け入れ希望があることが大切であり、その多くの企業の中から行く先を選択できることは、生徒にとり職域が広がり、進路決定の際に多様な希望に応えられる環境になると思います。 ・地元企業の協力で充実している。今後も工業高校の魅力をもPRしてほしい。 ・どのような要望があり、それに対し就職した生徒の現状との関係をよく把握し、生徒を教育してほし
		生徒への情報提供と進路相談	生徒への進路情報の提供および進路相談業務をおして、個に応じた適切な進路指導が行えたか。	係会、学年会等を通じ随時情報提供を行い、また各担任がクラスの個別の生徒に対し丁寧に進路指導を行っている。「進路だより」を通じて全学年に最新の進路情報を提供している。	A	B	・進学に対し、岡工が長期にわたって作り上げてきた実績により、国公立大学・短大などから多数の推薦での受け入れ先があり、在籍している生徒は大変恵まれています。しかしながら推薦には1学年からの通算成績が加味されることから、入学時に生徒・父母に対し、推薦入学の利点など充分説明し、生徒には1学年から授業を大切に、地道に日々学ぶ努力を怠らないよう指導を行ってください。
特別教育活動	生徒会	生徒の自主活動	生徒会活動全般において、生徒が自主的に企画運営を行い、達成感と充実を得ることが出来たか。会員生徒の生徒会活動への意識向上ができたか。	第61回の文化祭では、環境活動も含め工業高校の特色を活かした様々な工夫を取り入れながら、生徒1人1人が生き生きと活動する姿が見られた。	A	B	・文化祭は、1年間の実習成果、研究成果を校内校外に発表する場であると共に、岡工自体を学外にアピールする絶好の機会であることを念頭に置き活動を進めてください。 ・生徒会主体の岡工祭企画運営の達成感を今後に生かしてほしい。
		部活動	日々の部活動を充実したものにすることが出来たか。各部で定めた目標を達成することが出来たか。	ラグビー部の北信越大会での優勝、体操部のインターハイ出場をはじめ、運動部を中心に例年以上に部活動が活況となっている。文化系部活動の成果が見られるのはこれからであるが、今後の活動・活躍が期待される。	A	B	・各種体育系部活動でトップになるためには、部員は体力勝負だけではなく、試合を構成していく戦略が必要になり、そのための知力が求められます。知力の芽は岡工生には充分内在していますので、種から実になり、熟していくことを期待しています。
学校運営	教務	円滑な業務遂行	教育目標に沿って、日常の学校業務が円滑に進むよう、計画の立案と執行が図られたか。各係・委員会等との連携の下で、効率的に校務を推進することができたか。	・職員会の運営、教務担当行事については、教職員の協力を得て、円滑に行われていると思う。ただし、会議等の終了時刻が勤務時間を超えることに対する工夫が必要である。 ・係・委員会の要望に添って、柔軟に日課時間などを検討	B	B	・円滑な運営をするためには、ブレインストーミングによる活発な討議、論議をすることが、どんな方法にも勝ることであり、その土壌をさらに充実させていくことを望みます。さらに職員が学校を離れて毎科、学年毎などのグループでコミュニケーション（飲み会・食事会）の機会を通じ意見交換を行えば意思疎通が深まり、さらに一体感が生まれるものと思います。
		学検業務の推進	前期選抜・後期選抜を円滑に行うとともに、本校の特徴を中学生、受検生に理解してもらえたか。学検業務を委員会方式に移行する準備を整えたか。	・選抜業務総務係会を立ち上げ、業務に遺漏の無いよう準備を開始した。 ・3校合同説明会で7区中学校訪問を実施し、本校の特徴を中学3年生にくまなく伝えることができた。また、本校独自の選抜説明会などを活用して学科改編の要点の説明も含めて中学教師への周知を図る。 ・予定どおり、中学3年生対象の体験入学を2回実施し、延べ400名余りの参加を得た。 ・委員会方式に移行するため、今年度の学検業務を遂行経過をまとめている。	B	B	・「質実剛健・至誠一貫」に適う、資質ある生徒が入学してくる環境を整えるためには、中学訪問、新聞・テレビ局・LCVなどのメディアを利用した情報の提供、ホームページによる岡工PR、その他インターネットなどいろいろなツールを最大限に活用することが大切です。また100年の伝統を生かしたイメージアップ活動の展開を図れば、さらに良い成果が出てくると思います。
		地域に開かれた学校作り	本校の教育活動の現状や魅力を地元中学校や企業・地域社会等にアピールし、十分理解を得るとともに、地域に開かれた学校作りに努めたか。	・地元日刊紙に情報提供を行うなど、本校の取組や成果を広くアピールすることに努めている。また、新聞社の協力により記事を岡工トピックスにまとめて、学校評議員に配布したり、体験入学の資料として、中学生に配布した。また、そのダイジェストをHPに掲載している。	B	A	・岡工を卒業した知識人、著名人や社会のトップで活躍している卒業者が多数います。その方々は、通常卒業生ということで講演料や技術指導料は通常より割安で招くことが可能です。また、学官民で協賛して開催すれば、地域貢献につながります。講演会や実技研修を年1回または隔年で継続して開催していけば、生徒の情操教育や父母の意識改革につながります。また地域の方々に公開することにより、岡工の知名度アップはもとより、地域に開かれた学校になると思います。 ・新聞等の記事の記載で広くPRできた。今後も積極的な情報提供を望みます。

・近年いろいろな面で生徒の質が問われる時代になっています。また平均的な人間はできても、特異性のある、一つのことに秀でた人間づくりが難しい時代になってきているのも確かです。一方、世間の眼は時として味方であり、時には敵にとコロコロと変わってしまうのも現実です。そうした環境にはありますが、100年培ってきた岡工の精神である「質実剛健・至誠一貫」のもとに、「技術者となる前に人間となれ」の信念を貫くことが、最後には勝利者になります。そこまで腹をくくって行動できるかですが、その気持ちを常に持ち続けていけば、岡工は他の高校を凌駕していくものと思います。現在でも岡工には無形、有形のたくさんの財産がありますので、職員の皆さんの一層の頑張りに期待します。

・岡工の卒業生の勤務ぶりから、B以下の評価はないと思います。特に「技術者となる前に人間となれ」は、素晴らしい信条だと共感します。
・(岡工祭)年々企画力が向上し見学する岡工祭からもものづくりの体験岡工祭に変化してきたことに感動した。残念ながら、5科のバラツキが大きかった。

・(課題研究発表会)今までになく各科のプレゼンテーションは工夫を凝らしすばらしかった。これから社会人としてプラスになる。

・(その他)同窓会主導で進めてきた「岡工21世紀構想委員会」の意見を参考に企画部(先生)で「生徒が胸を膨らませる」魅力ある工業高校教育強化の検討をお願いしたい。

・先生方がそれぞれ意欲を持たれて教育に携わっていることに感心しました。生徒も授業参観以前に考えていたよりずっと整然として礼儀正しく見直しました。

・今後若年層の減少や企業のあり方を考えると、中途半端な知識や経験をもつ学生の就業はますます難しくなると思います。独自性をもっと高める必要があると思います。スポーツで実績があるので、次は学問や技術力でアピールできるものをつくればと思います。

・地域企業や技術を積極的に学び、取り込む目的で企業技術者は官庁研究者等を大いに利用すべきと思います。

・1月某日、ハローワーク伊那が、この春高校を卒業するのに就職が決まらない学生を対象とした、企業との「就職面接会」を開いた。第1回目となった当日に参加した学生は10人程度であった。なぜこの時期まで就職が決まらないのかは、本人や学校側に訊ねた訳ではないので不明だが、工業高校に通う生徒は1人もいなかったという。本校においては、昨年中には就職希望者がすべて内定を受けたとの報告で、不況時においての工業高校の強みを感じた。

大手情報機器製造企業の広報担当者は「どんな不況下でも『ものづくり』の原点となる社員には岡工卒業生が必要」と採用枠を用意していると聞き驚いた。また、中小企業の経営者は「この土地の製造業には、岡工卒業生が1人もいない企業はない」「岡工卒業生が現場を動かし、会社を守ってくれている」と豪語していた。

創立100周年を迎え、その間、多くの卒業生が努力をして企業や地域を支えています。そこには優秀な卒業生を輩出させてくれた学校職員の多大なる尽力があったことを推察いたします。これからも、多様化する経済活動のなか、本校の信条としている「技術者となる前に人間となれ」また、校歌にも謳われている「国を富ます産業の道を教ふる学舎」を後世に伝える『人づくり』を願います。